

2024 年度(令和 6 年度) 事業報告書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

一般財団法人 山縣記念財団

I 2024 年度決算について (以下千円未満は切捨)

(正味財産増減計算書)

- a) 2024 年度の経常収益は、受取会費 9,000 千円のほかに、基本財産および特定資産（ともに定期預金）の運用益と雑収益を併せ 9,045 千円（前年度 9,000 千円）となり、前年度比 44 千円の増加となった。
- b) 一方、経常費用は 38,053 千円（前年度 42,295 千円）となり、前年度比 4,241 千円の減少となった。
- c) 評価損益等調整前当期経常増減額は▲29,008 千円（前年度▲33,295 千円）となり、前年度比 4,286 千円の増加となった。
- d) また、基本財産評価損益等が 4,337 千円（前年度 23,434 千円）となり、前年度比 19,097 千円の減少となった。
- e) 当期末正味財産は、340,035 千円（前年度 364,706 千円）と前年度比 24,671 千円の減少となった。
- f) なお、公益目的支出計画は認可を受けた年間支出金額 29,902 千円に対し実績は 30,352 千円と 450 千円計画を上回った。

II 実施事項

1. 継続事業 1：普及・啓蒙事業

学術研究誌『海事交通研究』（年報）第 73 集発行

合計 6 件の論文等（内、査読論文 5 件、論文以外 1 件）を掲載し、2024 年 12 月 11 日発行、海運・物流関係者など約 400 先に配布した。

2. 継続事業 2：表彰事業(2024 年山縣勝見賞)

2024 年 7 月 16 日、鉄鋼会館にて受賞者、関係者を招いて贈呈式を開催した。

受賞著作・論文・受賞者は以下の通り。

- ・著作賞：根川幸男著『移民船から世界をみる 航路体験をめぐる日本近代史』
および
松尾俊彦著『日本の内航海運の研究』
- ・論文賞：該当者なし
- ・功労賞：高田富夫氏（流通経済大学名誉教授）
- ・特別賞：堀川恵子氏（ジャーナリスト、ノンフィクション作家）

3. 継続事業 3：助成事業（海事関係団体などへ支援と協力の強化）

(1) 2024 年度助成については、12 事業(10 団体/個人)に対し 230 万円助成することが承認され、全額実行され

た。

- ①日本海洋少年団連盟：「褒状山縣賞」授与事業（20 万円）
- ②日本海洋少年団連盟：「我ら海の子展」事業（10 万円）
- ③日本海洋少年団連盟：カヌー等整備事業（30 万円）
- ④東京海洋大学海事普及会：「海と船の教室」（30 万円）
- ⑤NPO 法人故郷の海を愛する会：海から始まる物語 IN 2024（10 万円）
- ⑥（公財）帆船日本丸記念財団（横浜みなと博物館）：令和 6 年度企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋港を支える長大橋」（20 万円）
- ⑦東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム：「明治丸 150 年」にかかる第 20 回明治丸シンポジウム及び特別展示（30 万円）
- ⑧村田奈々子（東洋大学文学部史学科教授（副学長））：ギリシア難民を救済した日本船（1922 年）の歴史的研究（20 万円）
- ⑨梶尾良太（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程）：陸運転移政策における大陸中継輸送に関する研究（20 万円）
- ⑩湯地敏史（宮崎大学教育文化学部教授）：大規模災害時における不断の教育を実現する船舶活用と船上での防災教育の検証（10 万円）
- ⑪内航海運研究会（代表：石黒一彦）：内航海運研究会の開催一船員の働き方改革とデジタル化への対応について（10 万円）
- ⑫原田峻平（名古屋市立大学データサイエンス学部准教授）：退役船を活用した海事文化振興の取り組みに関する調査—南極観測船ふじの事例—（20 万円）

- (2) 日本海洋少年団連盟主催の第 52 回「我ら海の子展」の最終審査会（2024 年 7 月 12 日）と授賞式（2024 年 8 月 23 日）に、郷古理事長と八木常務理事が出席し、郷古理事長より「山縣記念財団理事長賞」を贈呈した。また、2024 年度「褒状山縣賞」の授賞式（2025 年 3 月 19 日）に、郷古理事長と八木常務理事が出席した。

- (3) 東京海洋大学「船が育んだ江戸」編集委員会 編『船が育んだ江戸—物の運びがもたらす暮らしと文化』（山縣記念財団ライブラリー No. 4、2025 年 2 月 10 日海文堂より発行）に出版助成 100 万円実行。

Ⅲ 登記事項

2024. 6. 17 石井憲、伊藤義和、逸見真 評議員退任

味水佑毅 評議員辞任（任期到来日を他の評議員と合わせるため）

味水佑毅、高野茂、稲岡俊一、瀬田真 評議員就任

山縣一弘、大貫伸、中出哲、木原知己 評議員重任

以上 2024. 6. 26 登記

Ⅳ 会議などの実施状況

以下に記載した合計 17 件の会議（贈呈式を含む）を行った。

1. 理事会・評議員会等

No	開催日	場所/会議名	内容
(1)	2024. 4. 17	財団事務所 資産管理規程 改定ワーキン ググループ。 (WG)	2024 年 3 月 21 日開催定時理事会及び 2024 年 3 月 25 日開催臨時評議員会で、資産管理規程の改定の審議のために、本 WG の立ち上げが提案され、評議員と理事から 7 名が招集され、審議した結果、 ① 資産管理規程の改定を不要と判断し現行規程を活かすこととした。 ② 運用商品 3 銘柄すべてを即時売却することとした。
(2)	2024. 5. 28	財団事務所 定時理事会	① 2023 年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ② 基本財産にある運用中の 3 銘柄全量売却を承認。 ③ 年報掲載作品編集委員会 逸見、郷古委員辞任、稲岡、瀬田委員就任、山縣勝見賞選考委員会、逸見委員辞任、任期は前任者の残任期間である 2024 年 12 月 31 日までとすることを承認。 ④ 2024 年山縣勝見賞答申案を承認。 ⑤ 2024 年度助成申請予定出版企画の件につき「方針稟議」が承認。 ⑥ 定時評議員会の日時（6 月 17 日）、場所（財団事務所）、議題を承認。 ⑦ 2023 年度資産の運用状況につき報告。 ⑧ 公益目的支出計画達成後の財団運営につき、選択肢を提示。 ⑨ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況につき報告。 ⑩ 年報第 73 集に堀川恵子氏（2024 年山縣勝見賞（特別賞）受賞者）の寄稿を求める考えを説明し、委員会で十分議論することとなった。
(3)	2024. 6. 17	財団事務所 定時評議員会	① 2023 年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ② 基本財産にある運用中の 3 銘柄全量売却を承認。 ③ 評議員石井憲、伊藤義和、逸見真の退任、高野茂、稲岡俊一、瀬田真の就任、山縣一弘、大貫伸、中出哲、木原知己の重任、味水佑毅の一旦辞任後就任を承認。 ④ 2023 年度資産の運用状況につき報告。 ⑤ 公益目的支出計画達成後の財団運営につき、選択肢を提示。 ⑥ 年報掲載作品編集委員会 逸見、郷古委員辞任、稲岡、瀬田委員就任、山縣勝見賞選考委員会、逸見委員辞任、任期は前任者の残任期間である 2024 年 12 月 31 日までとすることを報告。 ⑦ 2024 年山縣勝見賞答申案が理事会で承認されたことを報告。 ⑧ 2024 年度助成申請予定出版企画の件につき「方針稟議」が理事会で承認されたことを報告。 ⑨ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況につき報告。 ⑩ 近年、年報への研究論文（査読付き）の応募者数が減っており、論文以外の特別寄稿も含め執筆を働きかけることがあると報告し、ジャンルの異なる文章の混載に当たっては、委員会で十分議論するようアドバイスがあった。
(4)	2024. 7. 2	e メールにて 臨時理事会	2024 年度出版助成申請『船が育んだ江戸ー物の運びがもたらす、暮らしと文化ー』（東京海洋大学「船が育んだ江戸」編集委員会編）につき「実行稟議」（助成実行額：100 万円）を承認。
(5)	2024. 11. 14	財団事務所 臨時理事会	① 基本財産（定期預金）の一部取崩しを承認。 ② 年報掲載作品編集委員会 伊藤委員退任、木原、中出、稲岡、瀬田委員重任、山縣勝見賞選考委員会 苦瀬委員退任、大貫委員就任、中出、木原、原田委員重任、助成審査委員会 苦瀬委員退

			任、味水、大貫、笹岡委員重任、任期は 2026 年 12 月 31 日までとすることを承認。 ③ 年報及び補助金助成事業の募集要領等の一部改定につき承認。 ④ 「年報掲載作品編集委員会内規」及び「査読要領」の一部改定につき承認。 ⑤ 臨時評議員会の日時（12 月 2 日）、場所（財団事務所）、議題を承認。 ⑥ 事業活動及び正味財産増減計算書の推移についての中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況につき報告。 ⑦ 基本財産等の運用状況につき報告。 ⑧ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告。 ⑨ 年報第 73 集掲載論文につき報告。 ⑩ 公益目的支出計画終了までとその後も当面財団運営のための資金は確保されているので、移行完了後の財団の事業運営については、信頼出来る人に個別に情報の開示やアドバイスを求めることはあっても、表立った動きは行わないこととする旨合意を得た。
(6)	2024. 12. 2	財団事務所 臨時評議員会	① 基本財産（定期預金）の一部取崩しを承認。 ② 事業活動及び正味財産増減計算書の推移についての中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況につき報告。 ③ 基本財産等の運用状況につき報告。 ④ 年報掲載作品編集委員会、山縣勝見賞選考委員会の一部委員の改選につき理事会で承認された旨報告。 ⑤ 年報第 73 集掲載論文につき報告。 ⑥ 年報及び補助金助成事業の募集要領等の一部改定につき報告。 ⑦ 「年報掲載作品編集委員会内規」及び「査読要領」の一部改定につき報告。
(7)	2025. 3. 19	e メールにて 臨時理事会	臨時評議員会の日時（3 月 28 日）、場所（財団事務所）、議題を承認。
(8)	2025. 3. 24	財団事務所 定時理事会	① 2025 年度事業計画及び予算を承認。 ② 2025 年度基本財産（定期預金）の一部解約を承認。 ③ 2025 年度補助金助成答申案を承認。 ④ 出版助成スキーム変更に伴う関連規程改定については、審議未了となり、引き続き検討することとした。 ⑤ 2024 年度の資産運用状況につき報告。 ⑥ 年報第 74 集、山縣勝見賞、出版助成の進捗状況につき報告。
(9)	2025. 3. 28	財団事務所 臨時評議員会	① 2025 年度基本財産（定期預金）の一部解約を承認。 ② 2025 年度事業計画及び予算につき報告。 ③ 2024 年度の資産運用状況につき報告。 ④ 2025 年度補助金助成答申案を理事会で承認したことを報告。

2. 年報掲載作品編集委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2024. 8. 1	財団事務所	① 年報第 73 集（2024 年 12 月発行予定）に研究論文（査読付き）として執筆申請のあった 7 件のうち 6 件を査読に回し、1 件を不掲載とすることとした。 ② レポートとして執筆申請のあった作品 3 件のうち 1 件を研究論文（査読付き）として対応するかどうするか本人の意向を確認することとし、2 件を不掲載とした。 ③ 郷古理事長よりの 2024 年山縣勝見賞（特別賞）受賞の堀川恵子

			氏に執筆依頼してはどうかとの提案を承認。
(2)	2024. 9. 12	財団事務所	査読対象論文7件（うち1件はレポートとして申請があり、研究論文（査読付き）に変更）の査読結果を受け、審議の結果、1件は不掲載とし、残り6件については、10月16日までに修正を求め、11月11日開催の次の委員会に掲載可否やカテゴリーを最終決定することとした。
(3)	2024. 11. 11	財団事務所	① 査読対象論文6件のうち5件を研究論文（査読付き）として掲載することとし、1件を研究ノートに掲載することとした（この執筆者から研究論文（査読付き）として掲載が叶わぬなら執筆辞退すると連絡があり、不掲載となった）。堀川氏の特別寄稿は掲載することとした。 ② 2025年第74集の募集要領、内規および査読要領の改定について協議した。
(4)	2025. 3. 18	財団事務所	① 年報第74集（2025年発行予定）の論文等執筆申請10件（全て査読付き論文として申請）について審議し、全10件の執筆申請を受諾した（うち1件は後日執筆辞退し、9件となった）。 ② 申請件数が10件以下だったので、内規により、昨年度に執筆依頼し、今年度に執筆を応諾した「洪沢栄一と海運」に加え、味水評議員他2名に執筆を打診し、味水氏が特別寄稿の執筆を応諾した。

3. 山縣勝見賞選考委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2024. 5. 17	財団事務所	2024年山縣勝見賞受賞候補として、著作賞2件、功労賞1件、特別賞1件を選定し（論文賞該当なし）、理事会に答申することとした。
(2)	2024. 7. 16	鉄鋼会館	贈呈式開催。受賞者3名、代理人1名、随行者1名、財団山縣勝見賞選考委員長1名、常勤理事3名、計9名出席。

4. 助成審査委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2024. 9. 24	財団事務所	① 研究助成の成果について研究成果報告書等を提出させることとした。 ② a. 補助金助成申請の募集要領、b. 助成申請書、c. 補助金に係わる収支及び活動報告書の各フォームの改定につき協議した。 ③ 普及助成と研究助成に拘らず、成果報告について、事務局内で留めることなく、委員会にもその内容を知らせることとした。
(2)	2025. 3. 13	財団事務所	① 8申請先による10事業、365万円の申請に対し、10事業へ259万円の助成を行うことを内定し、理事会に答申することとした。 ② 出版助成の採り上げ可否について、今後は、理事会審議の前に助成審査委員会で審議し、理事会に答申することとしたので、これに伴う規程の改定につき次回理事会で審議することとした。

以上